

KANUMA NO MEISHO

鹿沼の名匠

染谷 佳男

そめや

よしお



染谷 佳男

1918年創業から三代にわたり続く「染谷タンス店」店主染谷さん。桐タンスの製造から塗装仕上げまでを一貫しておこなうことができる、数少ない優れた技術の持ち主です。

桐タンス作りは材料選びから始まり、反りや捻じれのある板を火で炙り、柔らかくして曲がりなどを直します。その後板を接ぎ合せ正確な寸法に裁断し、機械で荒削り後、仕上げ鉋で板を削ります。タンスの造りに合わせてミゾやホゾの加工をしますが、桐材は伸縮率が大きく、木の硬さに合わせてホゾを彫るため、ほとんどが手作業です。タンス枠が組み上がった後、引出しをタンス枠より僅かに大きく作成し、鉋で削りながら仕込んでいきます。仕込み後、仕上げ鉋でタンス全体を削ります。塗装では、まず宇造りという道具でタンス表面を擦り木目を浮き出たせ、自然素材の塗料を塗布した後、艶出し、防水処理、

金物の取り付け、引出しの調整をして完成となります。

生活環境の変化で、新しい桐タンスを買い求める人が少なくなり、現在は修理、再生を中心に作業されていますが、確かな技術で栃木県内はもちろん、関東一円から依頼があります。また、タンスのみならず鏡台、仏壇、座卓のリフォームなども手掛け、一般のお客様だけではなく家具店や卸問屋からの依頼も多く受けています。

修理を終えると、まるで新品のように生まれ変わるので、お客様はとてびっくりし喜ばれるそうです。お客様の喜ぶ顔を見るのが、染谷さんの励みとなっています。

「お客様の気持ちになって」をモットーに、染谷さんは日々丁寧に仕事に取り組んでいます。

◆ 総桐たんす製作・再生

カ 鹿沼市